

(2) 事業内容

- ・ 県内企業が次世代自動車に関連する事業に参入していくための高度な試験研究設備を試験研究機関へ設置し、依頼試験あるいは開放機器として利用可能にすることで、研究段階から実用化段階への移行を支援する。

(3) 県負担・補助率の考え方

交付金事業で実施する。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
備品購入費	41,490	試験研究備品の購入
合計	41,490	

決定額の考え方

財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当します

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・ 岐阜県DX推進計画の製造業プロジェクト、研究開発支援プロジェクト、成長産業(エネルギー関連産業)プロジェクトに位置付けられる(予定)。
- ・ 次期岐阜県成長・雇用戦略の脱炭素社会に向けた対応に位置付けられる(予定)。
- ・ 「脱炭素社会ぎふ」の実現に寄与する。

(2) 国・他県の状況

- ・ 「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」の策定(経済産業省)
- ・ 地方公共団体における2050年ゼロカーボンシティ表明(環境省)

(3) 後年度の財政負担

- ・ 故障時の修繕費用
- ・ 機器校正費用

(4) 事業主体及びその妥当性

- ・ 岐阜県(工業系試験研究機関)が企業支援を実施し、新規分野への参入への障壁を低くすることで産業振興を促す。

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 令和4年度中に県内企業が自動車の電動化技術に対応していくため、高度な試験研究設備を県が試験研究機関へ設置し、依頼試験あるいは開放機器として利用可能にすることで、研究段階から実用化段階への移行を支援する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R3)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R5)	達成率
						%
機器利用の推進 ① ※機器利用回数	0	/	/	/	40	%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価)	<p>3</p> <p>岐阜県DX推進計画並びに、次期成長・雇用戦略においても脱炭素社会に向けた対応が検討されており、本事業はこれらに合致したもので必要性が高い。2050年「脱炭素社会ぎふ」の実現にも、自動車の電動化は大きく寄与する。</p>
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） <small>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価)	
<p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価)	

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 導入機器の故障時の対応やソフトウェアの保守</p>

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 県内企業に対し導入機器の周知を図って活用を促し、技術支援を一層進める。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	<p>【〇〇課】</p>
<p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p>	